

2020年世界はこうなる（長谷川・田原対談）（2016年1月4日発刊）

担当:石田昭 2015年12月26日

- 1 高級マンションが鬼城（ゴーストタウン）になった理由。極端な金詰りに陥った。多くの識者が中国のキャンペーンに引っかかり、中国経済の失敗が読めなかった。（H）
- 2 経済成長には4条件「民族対立がない」「農業改革」「教育」「民主主義」全てが必要。中国には全てがなく、汚職が蔓延。農民が都市戸籍を得るのに60万円の闇金が必要。
- 3 AIIB 参加した方がいい（T）参加しない方が賢い（H）。中国は国内不況、資材余りを海外で消費したいと自国の都合だけを考える。原発の技術レベルは低く、恐ろしく危険な代物。
- 4 南シナ海の岸壁埋め立ては「南艦隊」が勝手にやっている、習近平は掌握できていない。人民解放軍は共産党の命令には従わない。習近平は困っている（H）
- 5 日本はバブル崩壊後にも製造業は安定、中国は製造業が駄目になる。日本は銀行も再編成できたが、中国では自由がなく再編が出来ない。ソフトランディングは出来ない体質。
- 6 中国が日本で太陽光発電事業に熱心なのは、会社の財産を日本に持ち出すため。自国の体制が危ないのを知っている。日本の水源地を確保しているのも本当は資産の海外移転なのかも。
- 7 拉致被害者は「朝鮮窒素肥料」の職員を入れると1000人以上になる。日本人を放置してきたことが暴露されるのを外務省は一番嫌がっている。
- 8 中国は近いうちに7つの軍区に分裂する。（以前の靈言で「北朝鮮に利権を持つ瀋陽軍が独立する」とHは言っていたが）今回、瀋陽軍区の幹部が運用するシャドーバンクが危機、普通銀行に切り替え、人民銀行の資金融通した。これで瀋陽軍区は習近平に逆らえなくなった。北朝鮮を完全に切ることが可能になった。中国には北朝鮮を救済する経済力はない。（H）
- 9 天津港爆破事故はウイグル人によるテロ（H）。消火活動上の科学的無知、解離水素説（石田説）
- 10 中東問題はフセイン政権に関わった人全員を追放したアメリカの誤算。ISのゲリラ活動は軍隊ではなく、警察組織がないと鎮圧できない。アメリカはそれを理解していない。上から組織を作るべき。フセイン体制の役人はスンニ派、すべてシーア派に切り替えた統治の失敗。
- 11 集団的自衛権行使での左翼陣営の心配事、優れた装備を持つアメリカ軍は日本の自衛隊との共同作戦を拒否する。自衛隊は実質的には後方支援がやっと・・・。足手まとい
- 12 天皇制を残すために、憲法9条は飲まれた。天皇制を廃止すれば、暴動になる。（H）
- 13 中国崩壊に対して、日本は完全撤退すべし。中国は内戦に入るから、関与しない。近い将来「血の海」になる。何千万人死ぬか分からぬ。習近平は2016年ですら危ない。（H）
- 14 共産主義体制は「自分さえ良ければいい」という極端な考え方をして無責任体制になる。
- 15 中国の路線変更問題：アメリカは中ソの徹底対立を見て、中国をアメリカに引き寄せようとした。それがキッシンジャーの狙い。その情報をHは香港にあったイギリス情報機関の関係者から聞いた。「中国はまもなくアメリカと手を結ぶ」と言うルポを書いた。
- 16 中国は路線変更で（アメリカの支援があり）経済的成功を達成した。しかし、今行き詰まりの時、何を考えているか、洞察力が大切。どうしても日本からの資金流入を増やし、経済の再建を考えているはず。今後中国は日本寄りの姿勢を強めてくる事が十分予想される。
- 17 今年11月の日中韓3カ国会議は中韓の日本接近の一つ。マスコミは気付いていないが、北朝鮮の危機が根底にある。38度戦の崩壊が迫っていると思う（H）。
- 18 中国は分裂し、アジアの霸権国は日本になる。中国の内戦には一切関与してはならない。
- 19 巨大市場（ミスター円柳原英資など）と言うのは幻想に過ぎない、惑わされてはいけない。